

# 彼方「かなた」

校長通信  
H30.4.25  
Vol.4

【年度始め保護者会で伝えなかったこと！】

お忙しい中、多くの保護者の皆様にご参加いただき、平成三十年年度学年始め保護者会並びにPTA総会を開催することができました。

ありがとうございます。

校長挨拶では、現在学校教育に問われていることを、



学習指導要領改訂に伴う教育改革の背景を踏まえながら少し大きな視点でお話をさせていただきました。本来ならその後、今年度創立四十周年を迎えた白山中をさらにもう一回り大きく成長させるための具体的な改善策についてお伝えしたかったのですが、残念ながら時間が限られていたので割愛いたしました。そこで、改めて8つの変更点をお伝えしたいと思います。

① 学校教育目標を「育てる」から「めざす」としました。学校教育目標は教師だけの目標ではなく、生徒、保護者、地域みんなで目指すべき姿なので、それを意識しやすいように「みがき合い・支え合う、心豊かでたくましく生きる生徒をめざす」としました。学校全体で常に目標を意識して、様々な取り組みを推進していきたくないと考えています。

② 目指す生徒像の「自ら学び、思考、表現する生徒」を「自ら共に学ぶ生徒」としました。新しい

学習指導要領（平成三十三年完全実施）の移行期間の初年度を受け、「主体的、対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」を意識して、「自分から学ぼう！」「仲間とみがき合おう！」という「学びの姿」をイメージできるように設定したのです。

③ 新学習指導要領の移行期（三年前倒し）を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」や「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の推進を図るようになっています。特に学校が何を目指してどのように教育課程を組んでいるのかを保護者の皆さんや地域の方々に意識してもらえらるよう、学校だよりやホームページに方針を載せて、情報提供していきたいと思っています。

④ ID（インテリジェンス）の視点で、授業を積極的に改善していきます。板書計画や教室環境、一指示一動作、視的な掲示物、ICT機器の活用、生徒指導の機能を生かした「わかる授業」等を意識的に推進していきたいと思っています。

⑤ 地域貢献（福祉教育、ボランティア活動等）を考えながら、支え、支えられる関係を学校の内外に組み込み、学びの場を充実させていきたいと思っています。地域資源を活用し、校内ボランティア活動を推進したり、地域活動への積極的な参加を促したり、地域と共に歩む学校づくりに取り組んでいきたいと思っています。

⑥ 研究主題を「活用できる生徒をめざす！」としました。昨年度に引き続き、授業改善のための校内研修を充実させていきたいと思っています。特に授業中の「振り返り」を意識し、「深い学び」を追求

しながら、次の授業や学習等に活用できるようにしていきたいと思っています。

⑦ 「人間関係づくり」（長欠対策）が大きな課題の一つ目です。より良い生徒同士の関係や教師と生徒との関係を構築することで、一人一人の居場所づくりを意識していきたいと思っています。

Q-U検査やいじめアンケートを活用したり、構成的なグループエンカウンターを計画的に取り入れったり、部会活動や委員会活動を充実させ、個々の生徒の有用感を高め、共感的な関係を構築していきたいと思っています。また、校内適応教室の運営についてもさらに充実させていきたいと思っています。

⑧ 「キャリア教育」（進路指導）が大きな課題の一つ目です。一年生からのキャリア教育の充実を図り、進路意識を高めていきたいと思っています。職業観の育成や上級学校への進学の意味を考えさせながら、卒業後の進路実現に向けて計画的に学習を進めていきたいと思っています。

「笑顔満載の地域の学校」を目指し、このような新たな八つの改善点や取り組みを掲げながら、授業改善や心の教育の充実等を図り、具体的な変化（成長）をつくり上げていきたいと思っています。特に新学習指導要領の総則に記されている未来予測を意識し、校内の指導に反映させながら全教職員で力を合わせて尽力していきたいと思っています。一年間よろしくお願ひします。

